



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 高木 純

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1325 回	56 名	56 名	40 名	——	71.43%
前々回 1323 回	56 名	56 名	41 名	3 名	76.79%

### ●点鐘

会長 中田 学

### ●ロータリーソング

それでこそロータリー

### ●四つのテスト

### ●会長挨拶

会長 中田 学

こんにちは！ 会長の時間です。

6月になりました。今年は梅雨の始まりが、例年より1週間、昨年より2週間も早いそうです。

毎年、気象庁が「梅雨入り」を発表しますが、これは、

雨の季節が始まると大雨なども起こりやすいので、それにしっかり備えてくださいという防災的な意味合いから行っているものだそうです。それと、日本人は季節に敏感な人が多く、天候の変化がわかるのなら、ちゃんと知りたいという人が多いから続けているそうです。

子供の頃から、梅雨といえば、シトシトと雨の日が続くイメージでしたが、最近、梅雨入りしたかと思えば、晴れの日が続いてみたり、一昨日の豊川や沼津や伊勢のように、一転して、河川の氾濫や土砂災害を引き起こすような大雨になるなど、不安定で、変動の幅が大きくなっているなあと感じています。これは、やはり、地球温暖化による気候変動が進んでいることが原因なのだろうなあ思っています。

国連のSDGSの中のナンバー13が、環境ということで、「気候変動に具体的な対策を」ということになっています。

内容としては、ちょっとわかりにくい言葉で恐縮ですが、3つあって、

①気候変動対策を国別の政策、戦略および計画に盛り込む。

②気候変動の緩和、適応、影響軽減、および早期警告に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を

改善する。

③開発途上国のニーズに対応するため、2020年までにあらゆる供給源から年間1,000億ドルを共同動員するという、国連気候変動枠組条約(UNFCCC)の先進締約国によりコミットメントを実施し、可能な限り速やかに資本を投下して、「グリーン気候基金」を本格始動させる。

女性、若者、および社会的弱者コミュニティの重点化などを通じて、後発開発途上国における気候変動関連の効果的な計画策定や管理の能力を向上するためのメカニズムを推進する。

簡単に言うと、先進国は、自ら温暖化対策をしっかりとやり、更には、人・もの・金を使って途上国を支援しなさいということなのだと思います。

これを受けて、日本政府は、国内での対策として、「エコアクション21」という、環境省が策定した環境経営の認証・登録制度を展開しています。

この「エコアクション21」は、環境に配慮した経営に取り組む企業に対し「認証」を与えるだけではなく、業務改善や従業員教育、SDGsへの対応、環境コミュニケーションの取り組みなどを支援・促進し、一連の取り組みにより経営体質の強化につなげる「企業価値向上ツール」としての使命も担っているそうです。2004年度に認証・登録制度として発足し、2021年末5月末現在、全国で約7,500社が登録しているそうです。もう少し調べて、できるのなら取り組んでみたいと思っています。

国際ロータリーも、もちろん人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じていると言っており、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援し、補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組むとしています。これを受けて、世界中の様々なクラブが、コミットして、それぞれの環境



問題に取り組んでいます。

こうやってお話ししている、「環境問題」というものは、大きく、広く、難しいものだと思いますし、クラブとしても、個人としても、何についてどう取り組むかを明確に打ち出せない状況だと思います。なので、どうしても、誰かがやってくれるとか、自分がやったとしてもさほど変わらないと思ってしまいます。

まずは、そういう感覚を捨てて、できることをやっけていく、西川きよしさんではありませんが、「小さいことから、こつこつ」というように、自分のできる取り組みを見つけて、できる範囲でやっけていくということを始めていかなければいけないなあと思います。

さて、本日の例会は、クラブアッセンブリーということで、本年度の活動を総括して、次年度へつなげていく大切な作業ですので、どうぞよろしく願います。

最後になりますが、コロナは、だいぶ落ち着きましたが、この時期、熱中症、食中毒など、いろいろありますので、体調管理にお努めいただくことをお願いして、会長の時間とします。ありがとうございました。

## ●幹事報告 幹事 二木 公太郎

◎RI本部より  
・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第2630地区ガバナー事務所より  
・財団室ニュース 6月号

○国際ロータリー日本事務局より  
・ロータリー財団寄付表彰  
ポールハリスフェロー  
鷲塚 英雄/熊崎 元康/植木 眞吾  
ポールハリスフェロー マルチプル  
和田 良博/岩本 正樹  
ポールハリスフェロー マルチプル2  
岩垣津 亘/中田専太郎

<高山市青少年育成市民会議より>  
・「高山市少年の主張コンクール」実施のご案内と後援名義使用について



## ●クラブアッセンブリー 会場監督

今井 哲也

委員会メンバーのご協力の下、大きな問題もなく例会設営及び会場監督をさせていただくことができました。

年度当初には3グループ制を試みましたが、設営メンバーが揃わないこともあり、通年通りの2グループ制に戻しました。多数で協力して素早く準備・片付けをするスタイルが合っていると再認識いたしました。

一年間ありがとうございました。



## 公共イメージ/IT委員会

委員長 高橋厚生

<令和4年度(2022~2023)

事業報告書>

委員長: 高橋 厚生

委員: 水口 邦博

住 裕治

①当クラブの事業活動を地域社会に広め、イメージ向上及び認知度UPに努める

②オンライン等を活用した例会への取り組みを促進し、新しいクラブ運営を検討する。



1. 例会日
2. 活動計画内容
3. 概要

1. 令和4年9月12日
2. ZOOM画面の説明会
3. (画面操作方法及びアイコンの説明等について講師を招いて説明していただく) オリジナルマニュアルを基に説明

1. 令和5年2月中旬
2. 高山3RC合同で高山市民時報紙にロータリー特集号を掲載
3. コロナにより活動が極小のため掲載せず

1. 令和5年5月29日
2. オンライン例会の今後の進め方について (コロナ後におけるオンライン例会の在り方を検討)
3. アンケート形式での意見徴収

1. 令和5年6月5日 クラブアッセンブリー
2. 3. 皆様の御協力により、一年を終われます事

に感謝いたします。ありがとうございました。

当委員会では、3つの事業を行いました。  
 昨年9月の例会では、昨今必要不可欠なツールとなりました「Zoom」での基本的な操作方法等を、皆様にご理解いただける例会として、オリジナルのマニュアルを基にして、会員で当委員会の(株)BaQuun.TVの水口氏より説明を頂きました。パソコン画面とスマホ・タブレット画面の2種類の画面での説明は、多様な利用者の参考となったと思います。  
 続きまして、毎年掲載されておりました高山3RC合同での高山市民時報紙のロータリー特集号ですが、コロナによる活動自粛をふまえ、今回は掲載をしませんでした。まだまだ、コロナの影響を感じる対応だったと思います。  
 最後にオンライン例会について、アンケート形式でご意見を頂戴いたしました。結果をまとめる作業の中で、私個人としては「通常の仕事」と「ロータリー活動」との違いを感じました。ビジネスの世界では「生産性向上」「無駄の排除」などといった「効率化」「労働力」としてITを活用しているようですが、ロータリーにおいては、一見すると不効率にも感じる「集まる」「直接話す」「顔を合わせる」といった活動が重要で、メンバーの皆様も重要視していると感じました。  
 皆様の温かいお気持ちに支えられ、本年度の委員会運営ができましたことに感謝し、コロナ後のロータリー活動に期待して委員会報告といたします。ありがとうございました。

### 奉仕プロジェクト委員会 グループ担当理事

奉仕プロジェクトグループ3委員会(2委員会)と連携し、地域社会の発展と地域の子供たちに世界を広く知ってもらおう。

8月20日

シャンティ国際ボランティア会 課長 平松容子様にご講師をお願いし、奉仕プロジェクトの合同事業として市内在住の小学生に、海外の子供たちの課題や状況のお話をし頂き、その後日本語の本に現地の言葉の翻訳シールを貼る作業をしていただき、後日紛争や貧困により教育が受けられない子供に本を届ける運動に参加しました。高山市は国の「SDGS 未来都市」に認定され、高山図書館でも出来る形で、目標の実現に取り組んでいる事を知り、その活動の重要性から当クラブが出来る事を考え、地区補助金を申請し、上記の事業と録音再生機、車椅子、その他計



山本 辰男

¥685,100、当クラブ拠出金¥320,000(ロータリー財団委員会)

8月22日

メンバーも図書館で一緒に体験して頂く予定でしたが、コロナ禍の中、多数の人が集まるのは危険と判断し、平島様にお話しと、メンバーに絵本を届ける運動に参加していただきました

### 社会奉仕/国際奉仕委員会 委員長

高原 龍士

今年度、国際奉仕、社会奉仕委員長を担当させて頂きました高原です。

活動内容としましては、11月に社会奉仕移動例会とさせて頂き山田町にあります飛騨慈光会様の施設見学をさせて頂きました。

メンバーの堀口さん、住さんがジョイントされて作られた建物なだけに大変素晴らしいものでした。施設の方にも近年の福祉状況をお話して頂き大変充実した時間だったと思います。2月には国際奉仕例会で高山市長にお越しいただきまして過去の海外との交流や今後の高山市の国際交流展望をお話して頂きました。市長におかれましては大変お忙しい中時間をさいいただきまして感謝致しております。

あと、出向で飛騨慈光会後援会の役員として参加させて頂きました。対外行事のことや広報誌の作成などに携わらせて頂きました。

一年間やらせて頂き是非、メンバーの方々には今後も国際奉仕、社会奉仕への更なるご理解と、ご支援を頂ければ幸いです。今年度はご協力いただきましてありがとうございました。



### ロータリー財団委員会 委員長

植木 眞吾

ロータリー財団委員会は仲谷さんと植木の2名で基本方針はロータリー財団の意義と活動目的を理解しようと活動してきました。

令和4年10月3日には、ロータリー財団への理解を深めるためR財団補助金小委員会地区補助金担当委員である高山ロータリークラブの長岡 俊輔さんに卓話をお願いしました。令和5年3月19日にはロータリー財団の主要事業でもある「ポリオ根絶募金活動」を行いました。陣屋前広場にて零宮祭の会場の一部をお借りし、3ロータリークラブ合同で活動でした。



ポリオ根絶募金並びにロータリー財団への寄付にご協力いただき有難うございました。1年間当委員会活動にご協力くださりお礼申し上げます。

### 職業奉仕グループ担当理事及び職業奉仕委員会 委員長 三枝 祥一

職業奉仕グループ担当理事 三枝 祥一  
職業奉仕委員会 委員長 三枝 祥一

委員 渡辺 甚一・海老沢 玲子

基本方針は、ロータリーオリジナルの職業奉仕とは何か、その奉仕の相手とはを再確認する。

11月7日 地区職業奉仕委員会 北川委員より「職業奉仕の相手とは？」と題して卓話をして頂きました

1月23日に会員スピーチ・職業奉仕について 田中雅昭氏・中田専太郎氏・剣田廣喜パストガバナ



### 研修委員会 委員長

委員長 田中 雅昭  
委員 高原 清人、松之木 映一、坂之上 健一

田中 雅昭



#### 【活動報告】

新会員  
直井 宏文 君 令和4年7月11日入会  
井辺 義直 君 令和4年10月17日入会  
オリエンテーション9月14日  
IDM 11月17日(銀風)  
IDM 報告 12月12日

新会員  
角竹 正至 君 令和5年2月13日入会  
田中 由泰 君 令和5年2月13日入会  
オリエンテーション12月6日  
IDM 4月10日(銀風)  
IDM 報告 4月10日  
地区研修委員会会議 1回目 8月27日名鉄GH  
2回目 1月28日名鉄GH

#### 基本方針

1. 元気で活力あるクラブづくりを目標に、より多くのロータリー情報を提供し関心を持ってもらえるよう努める。
2. 新しい会員と現会員の交流が図れる様、研修の場を設けクラブの活性化に努める。

予算は主に IDM に使用し、10万円に対し9万8473円で残1527円となりました。

今年度の基本方針に基づき活動を行ってまいりました。今年度は4名の新会員さんに入会して頂き歓迎申し上げます。さて年々感じるのは、私だけでしょうか。老いも若きも、より一層気楽で楽しいクラブになる事を望んでいるに違いありません。その為にも次年度の会員増強は無論、親睦には大いに期待しております。次年度に於いても、新会員さんとの研修の場を増やし、会員維持・増強に努めたいと思います。ありがとうございました。

### 青少年奉仕グループ担当理事

益田 大輔

青少年奉仕グループ 担当理事 益田大輔  
青少年奉仕/インターアクト委員会



委員長 益田 大輔  
青少年奉仕グループの活動として、10月24日に東山中学校の1年生を対象に出前講座を行いました。コロナ禍でしたが、多数のご参加、講師を担当頂き感謝申し上げます。継続事業となりますので、次年度以降も宜しくお願い致します。

10月30日には益田清風高校にてインターアクトの例会がありました。下呂市の地域おこし協力隊員、公務員舞妓「まり華」さんが講師をされました。1970年代には150人ほどいた芸妓が現在はわずか2人となり、東京から芸大を出て公募でこられたとのこと。公務員×舞妓がまちおこしになるという事例を通して、高校生との交流がありました。

5月15日には飛騨こども相談センター所長の谷倉さまをお呼びして、虐待や里親、こどもの貧困・生きづらさ、不登校、自殺など、児童福祉の現状を知る機会を頂きました。就労支援や里親を含めてご支援ご理解頂ければ幸いです。

### 米山記念奨学委員会 委員長

清水 幸平

米山記念奨学委員会 委員長 清水幸平  
委員 中田専太郎 内田 茂



委員会の担当例会は2回でした。1回目は、10月17日で、米山月間にあたり米山記念奨学事業についての理解を深める例会を開催しました。2回目は、3月13日に魏藍天さんの送別にあたっての例会としま

した。

本年度は米山記念奨学生として、中国湖北省出身の魏藍天さんを受け入れました。期間は、2022年4月1日～2023年3月31日です。その間は毎月一回例会に出席していただき、魏さんには、例会において自己紹介や日本での生活、大学の様子など近況報告を数回していただきました。また、県内各地で奉仕活動などのロータリー活動にも積極的に参加されました。また高山の文化に興味を持ち、夜例会にも喜んで出席していただき皆さんとも親しく交流されたことと思います。

米山記念奨学事業のカウンセラーとして、名鉄グランドホテルにて3回の会議に出席しました。

2022年 4月3日 オリエンテーション

9月4日 カウンセラー研修会及び中間報告会

2023年 3月5日 奨学生修了書授与式

魏さんは、博士号を取得され現在は名工大で働いています。先月はフランスでの学会に出席して発表されるなど大変活躍されています。今後も魏藍天さんとは高山中央ロータリークラブとして交流を続け、本人には米山学友会に参加してほしいと思います。魏藍天さんにはロータリー米山記念奨学生としてロータリーで学んだことを今後の人生で生かし、将来は日中友好のために働いてほしいと希望します。

### <ニコニコ BOX>

妻の誕生日にお花をありがとうございました。

高木 純

誕生日に続き、結婚記念日等、お祝いを頂きありがとうございました。今年で49歳となりました。結婚をして20年となります。これからもよろしくお願い致します。

高橋 厚生

新緑例会にてコロナになりました。

家族にうつってしまい、父親の株も暴落しました。

小出 貴博

身体が弱いので早退します。

久々野 国良